

## パブリックコメントの結果について

募集期間：平成22年1月15日～平成22年2月2日

応募件数 : 2件

不受理件数 : 1件(募集要件に非該当)

番号	応募方法	募集要件	ページ 該当箇所	意見等	対応
1	FAX	市内に住所がある人	4ページ 1の(1) 民間活力の活用	「認知症サポーター講座」を市が責任をもって、実施して頂きたい。 観光都市であるなら「人にやさしい街」でなくては。そのためには、市民のサポーターを増やすべし！！	<p>本市では、認知症高齢者対策として、各地区において、保健師による「認知症に関する正しい知識」をテーマとした講座を行い、住民が認知症を正しく理解して、認知症の方や家族を温かく見守り、認知症になっても安心して住み慣れた地域で生活していけるように取り組んでおります。</p> <p>認知症サポーター養成講座は、認知症キャラバン・メイト養成研修を受講されたキャラバン・メイトがボランティアの立場で講師役を務め開催することになっております。</p> <p>現在、市内では、キャラバン・メイトの方々が「認知症の人と家族の会」の皆さんと連携して、自主的に認知症サポーター養成講座を開催しており、その際に広く周知を図るため、市では「広報ひろさき」に記事を掲載したり、活動に必要な情報提供を行うなど、側面から活動支援しております。</p> <p>今後とも、民間活力を活用しながら、認知症サポーターの養成に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>(担当：健康福祉部介護保険課)</p>

番号	応募方法	募集要件	ページ 該当箇所	意見等	対応
2	FAX	市内に住所がある人	6ページ 3の(1) 職員数の削減	<p>市民から見ると、どうしても職員数が多すぎるように感じてしまう。その割には、窓口には、職員がおらず奥でパソコンの画面に向かっているのではないか？</p> <p>むしろ、人数を絞り、少数精鋭にしてはいかが？</p>	<p>市の仕事は、市民生活に関わること、福祉に関わること、産業に関わること、建設事業に関わることなど、多岐に及んでおります。また、窓口で行う業務のほかに、日常的にパソコンでの事務処理を含め多様な業務を行っております。これらのことから、職員数は決して多くはないものと考えております。</p> <p>しかしながら、人口の減少や厳しい財政状況が続くことを踏まえ、いかにして行政改革などにより市の仕事（事務事業）の見直しを着実に進めながら、職員数の削減にも取り組み、健全な財政運営を維持していくかが今後とも重要となってきます。</p> <p>当市では、平成18年2月の市町村合併後これまで51人の職員を削減してきました。今後も、定員適正化計画の策定により、職員数の削減を進めながらも、市民サービスの低下を招かないように努めてまいりたいと考えております。</p> <p>(担当：総務部人事課)</p>